

国土交通省九州地方整備局長 村山一弥様

熊本県知事 蒲島郁夫様

2021年6月1日

日本共産党熊本県議会議員

山本伸裕

球磨川、白川・緑川「流域治水協議会」のメンバーに、流域住民などを加えること について

「流域治水関連法案」審議の質疑のなかで、赤羽一嘉国土交通大臣は、「そこに住み、対策を訴え続けてきた地域住民の声を聞いてほしいと求めてきた。住民参加の仕組みつくるべきでは？」（日本共産党高橋千鶴子衆議院議員）との問いに、「協議会のメンバーに地域住民の代表や、地域で防災活動を一生懸命やってきた方々とか歴史をよくわかっている方々に入っていていただいてその知見を発揮していただく」と答弁しています。

熊本県内の一級河川、球磨川水系での「令和2年7月球磨川豪雨検証委員会」「球磨川流域治水協議会」、さらに「白川・緑川流域治水協議会」においては、国交省・熊本県・流域市町村長のみで構成されています。

流域住民、市民団体、日本共産党などが、「メンバーに、流域住民、治水にかかわってきた市民団体メンバー、専門家などを加えるべき」と再三、要請江いてきましたが、現在に至るまで改善されていません。

球磨川、白川・緑川「流域治水協議会」のメンバーに、流域住民などを加えることについて

直ちに、球磨川、白川・緑川「流域治水協議会」のメンバーに、流域住民などを加えることを求めます。